

サンプルファイルの使い方

このドキュメントでは、アドビの HTML5 特設サイト「Dreamweaver CS6 と HTML5 で今すぐ始めよう スマートフォン & タブレット 対応」 (<http://adobe-html5.jp/>) からダウンロードした可変グリッドレイアウトのサンプルファイルを、Dreamweaver CS6 で使用する為の設定手順を説明します。

設定に必要な作業は、大きく以下の3つです。

1. Dreamweaver CS6 のインストール
2. サイトの定義
3. 可変グリッドレイアウト機能の動作確認

事前に用意するものは以下の2点です。

1. Dreamweaver CS6 製品版 / 体験版
2. HTML5 特設サイトから提供される可変グリッドレイアウトのサンプルファイル

どちらも、HTML5 特設サイト (<http://adobe-html5.jp/>) から入手できます。

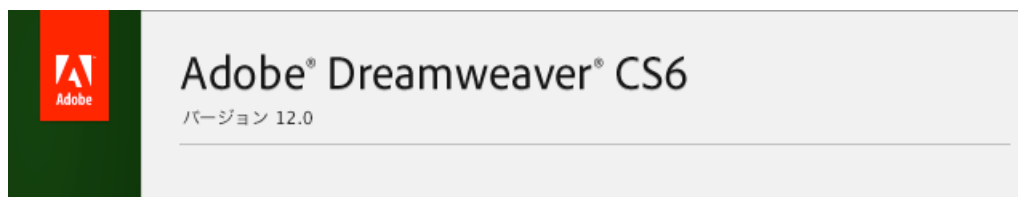
設定手順

1. Dreamweaver CS6 のインストール

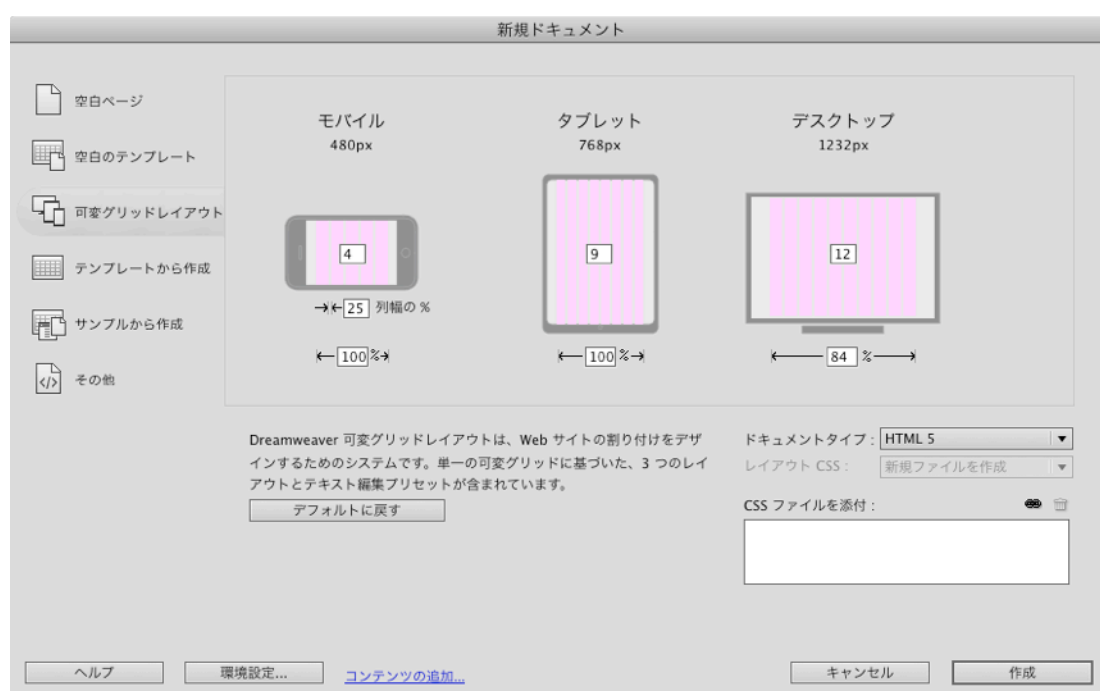
まず、Dreamweaver CS6 をインストールします。製品 / 体験版の入手は、HTML5 特設サイト (<http://adobe-html5.jp/>) 内の Dreamweaver CS6 バナーをクリックして、Dreamweaver の製品ページに移動してから、単体製品もしくは Creative Cloud を選択して下さい。



インストールが完了したら、動作確認のためDreamweaverを起動します。メニューから「Dreamweaverについて」を開きDreamweaver CS6が正しくインストールされていることを確認してください。

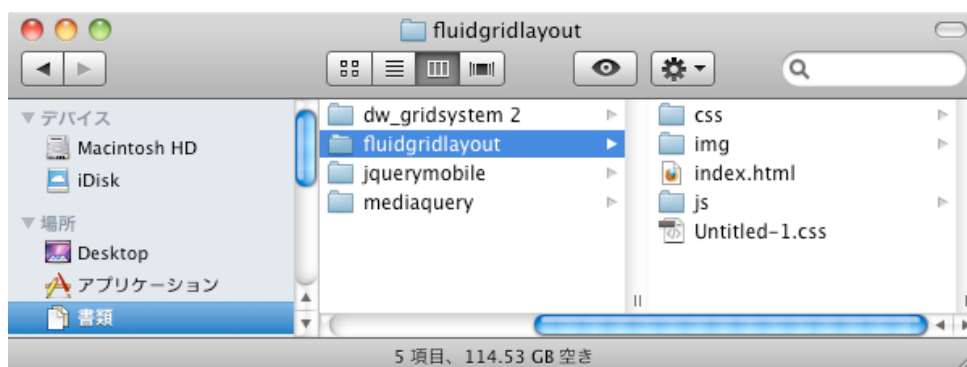


Dreamweaverを起動した状態で、「ファイル」メニューから「新しい可変グリッドレイアウト」を選べと、新規ドキュメントパネル内に可変グリッドレイアウトの初期設定画面が表示されます。これでツール側の準備は完了です。



2. サイトの定義

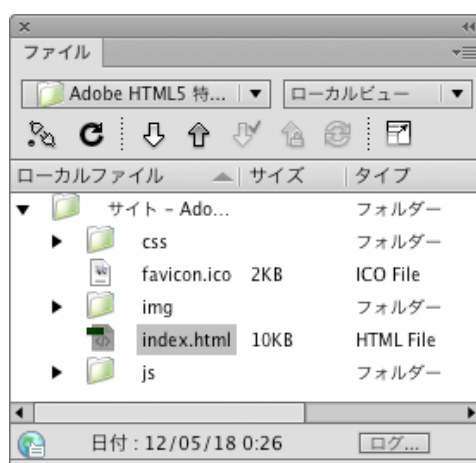
ダウンロードしたzipファイルをダブルクリックして展開します。展開したらzip内に含まれているhtdocsフォルダーを適当な場所に移動します。その際、必要に応じてhtdocsフォルダーの名前を変更します。



メニューバーの「サイト」メニューから「新規サイト」を選択すると、次のサイト設定ダイアログが開きます。



サイト名に適切な名前を、ローカルサイトフォルダーには先ほど展開したフォルダーの場所を指定します。「保存」をクリックするとサイト定義が生成されます。



ファイルパネルに、定義したサイトが表示されます。サイト名が上で指定したものと一致していることを確認して下さい。異なる場合は、パネル上部のプルダウンから目的のサイトを選択します。

パネル内でindex.htmlをクリックすると、ファイルがDreamweaverの編集領域に表示されます。ドキュメントツールの「ライブビュー」をクリックして実際の動作を確認してみましょう。



可変グリッドレイアウトで作成したデザインを表示すると、デフォルトの状態では、コンテンツの背景にグリッドが表示された状態になります。



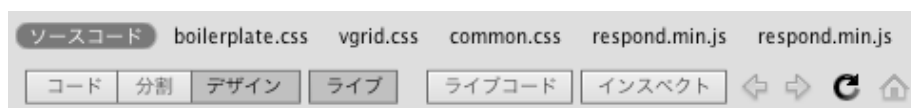
デザインビューの下アイコンを使うと、スマートフォン、タブレット、デスクトップ、それぞれの画面サイズでの表示に切り替えることができます。倍率の右側に3つ並んでいます。



スマートフォンのサイズを選択すると、背景のグリッドの数が2つになることが確認できるでしょうか？これにより、スマートフォン向けには2つのグリッドを使用してコンテンツをレイアウトしていることが分かります。



関連ファイルがドキュメントツールバー上部に表示されているので、クリックしてそれぞれのファイルの中身も確認してみてください。これらのファイルはDreamweaverにより自動的に生成されるものです。ツール内での作業が完了するまで、ユーザーがコードを記述する必要はありません。



3. 可変グリッドレイアウト機能の動作確認

index.htmlがデザインビュー内に表示された状態で、タブレット画面に切り替えて下さい。ライブビューを使用している場合は、編集を可能にするため、ライブビューをオフにします。

デザインビューには、上部にタイトルエリア、下部の左側にメインコンテンツ、右側にナビゲーションの3つの領域が表示されています。この状態で、メインコンテンツとナビゲーションの領域の間のスペースをクリックします。カーソルが2つの領域の間で点滅していることを確認します。



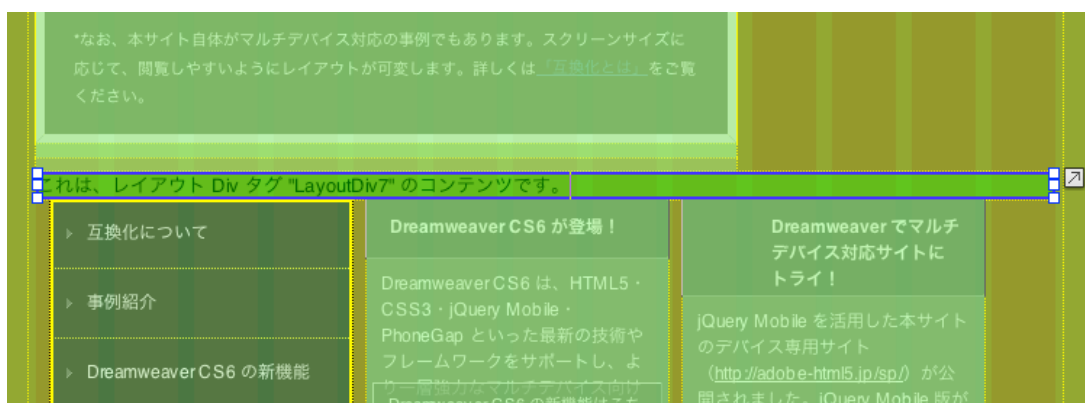
挿入パネルの「レイアウト」タブから、「可変グリッドレイアウトのDivタグを挿入」を選択します。



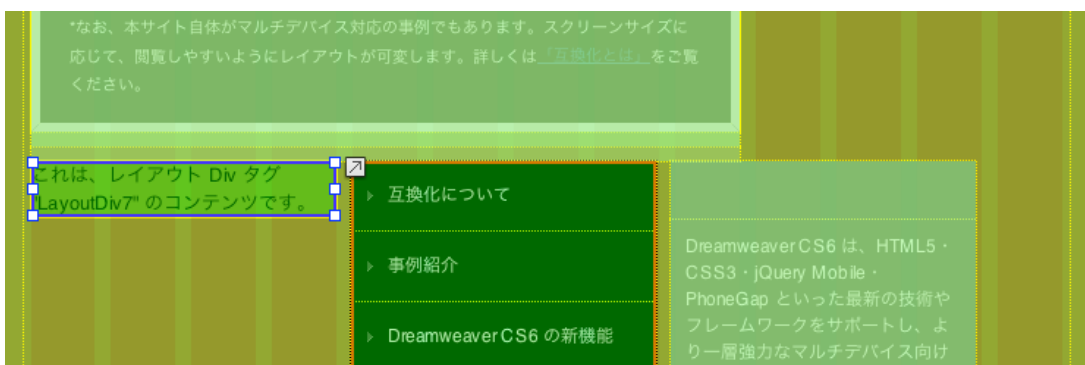
Divタグのidを指定するダイアログが表示されます。とりあえずそのまま「OK」を押します。



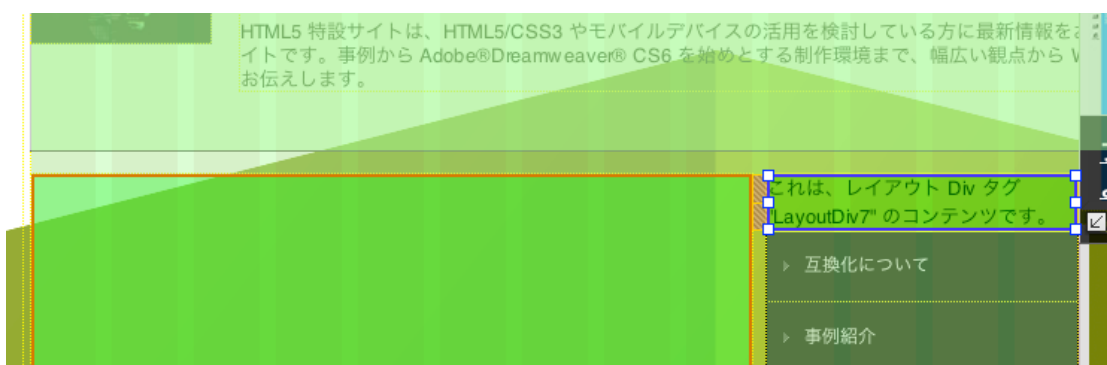
すると、メインコンテンツエリアの下に新しいDiv領域が追加され、ナビゲーションはその下に移動します。



新しいDiv領域の幅を変更します。変更には領域の右側の辺を使います。Div領域の右辺をマウスで掴んだら、そのまま指を離さずに幅を変えてみて下さい。幅が狭くなるのに従って、ナビゲーションやバナーコンテンツが、Div領域の横に並びます。

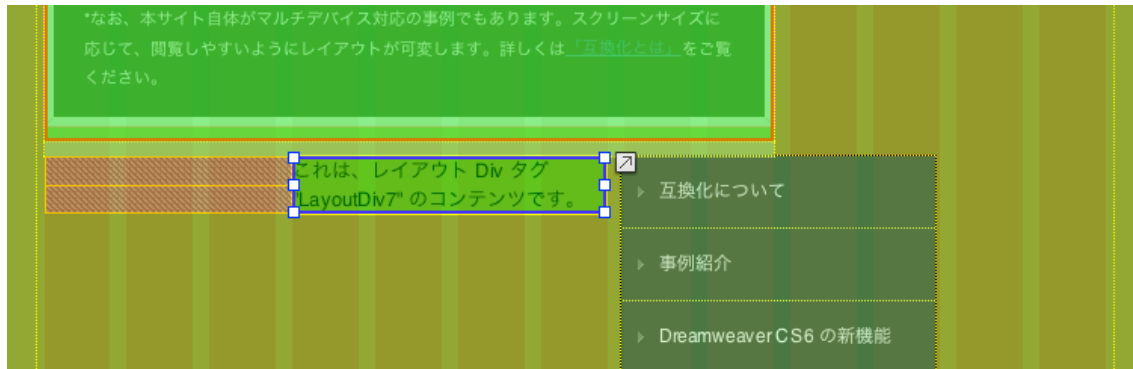


これは、ナビゲーション領域が上に移動するように設定されているためです。追加したDiv領域も、右上にある四角いアイコンをクリックすると、幅が足りれば上に移動するようになります。サンプルでは幅を4グリッド以下にすると、メインコンテンツの横に表示されるようになります。



元の状態に戻すには、Div領域の右下に表示されるアイコンをクリックします。領域は再びメインコンテンツの下に移動します。

Div領域の左側の辺は、領域の左側のマージンを設定します。新しく追加したDiv領域の左側の辺を右に移動すると、左側に空白のスペースを設定できます。



設定の確認は以上です、Dreamweaver を使って可変グリッドレイアウトを編集すれば、マルチスクリーンに対応するページデザインを容易に作成することができます。